

欧州

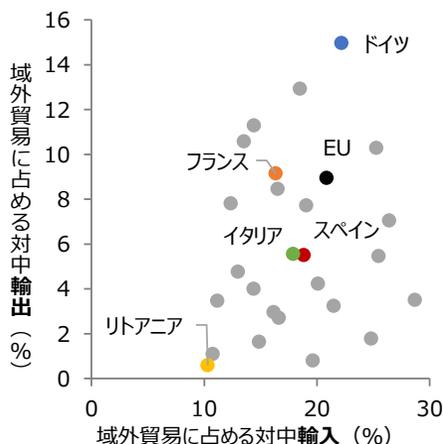
EUの経済安全保障戦略
デリスキング実現に向け動き出すEU政策・経済センター
綿谷謙吾
03-6858-2717

1 EUの経済安全保障戦略の概要

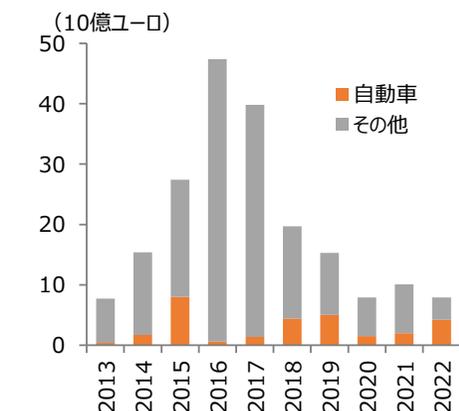
目的	<ul style="list-style-type: none"> 経済の開放性とダイナミズムを最大限維持しつつ、地政学的緊張の高まりとテクノロジーの加速を背景とした特定の経済フローのリスク最小化
想定リスク	<ul style="list-style-type: none"> 以下の4分野についてリスクアセスメントを今後実施し対策を検討 サプライチェーンのレジリエンスに対するリスク（エネルギー供給、グリーンランジション、医薬品など） 重要インフラに対するフィジカルおよびサイバーセキュリティリスク（海底ケーブル、パイプライン、電力、通信など） テクノロジー安全保障及び技術流出に関連したリスク 経済的依存関係の武器化または経済的威圧に関するリスク
リスク対応策	<ul style="list-style-type: none"> Promoting（EUの競争力強化）：単一市場の強化、サプライチェーン多様化、スキルへの投資、研究・産業・技術分野の強化など Protecting（規制・政策対応）：投資規制、輸出管理、外国補助金、経済的威圧対抗、AIや先端半導体などのデュアルユース分野規制など Partnering（パートナー国との関係強化）：貿易協定、ルールに基づく国際秩序の推進、Global Gatewayを活用した持続的な開発投資など

出所：欧州委員会より三菱総合研究所作成

2 EU各国の対中依存度（22年）

注：域外との財貿易に占める中国の割合。
出所：Eurostatより三菱総合研究所作成

3 中国からのEU・英国向け投資

注：中国からEU27か国と英国向けの投資。
出所：Rhodium Group and MERICS "Chinese FDI in Europe: 2022 Update"より三菱総合研究所作成

評価ポイント

経済安全保障戦略の概要

- 欧州委員会は6月20日に経済安全保障戦略を公表（図表1）。中国を明確に言及してはいないが、欧州委員長が3月の対中戦略に関する講演で打ち出した、デリスキング（de-risking）実現に向けた内容となっている。
- 戦略では、サプライチェーンや経済的威圧（輸出制限や高関税などで圧力をかけること）などに対するリスクアセスメントを欧州委員会・加盟国で実施し、それをもとにした対応策を検討する方針が示された。
- リスク対応策では、3つの取組分野（Promoting、Protecting、Partnering）が示された。具体的な対策には、欧州半導体法やネットゼロ産業法案、重要原材料法案など、すでに公表済みの法案が関連する。また、技術流出対策などを念頭においた、域内外投資や輸出管理規制などの新たな具体的対策は今後検討・公表される見込みだ。

今後の注目点

- 今後の注目点は、①対中政策に関するEU27か国の合意形成、②脱炭素など戦略分野の中国依存低減、の2つの課題をEUが解決できるかだ。
- ①各国の経済面での対中依存度にばらつきがある（図表2）。台湾情勢をめぐり、中国から報復措置を受けたリトアニアは、対中依存度が低い。一方、ドイツやフランスなど対中依存度が高い国で輸出入制限などの報復措置が取られた場合、経済影響は大きくなる。EUの外交政策は加盟国の全会一致が原則であり、具体的な対策の検討段階では、各国の調整が難航する可能性がある。
- ②EUは日本同様、重要資源で対中依存度が高い。さらに、EV分野の域内投資で中国の存在感は高まっている。中国からの投資は減少傾向にあるが、自動車分野、特にハンガリーを中心にバッテリー関連企業の投資が増加している（図表3）。脱炭素実現には、現時点で中国依存は不可欠だ。重要原材料法案で示した域内での資源リサイクルやネットゼロ産業法案での域内企業の競争力強化を通じて、中長期的にEUの中国依存度を低減できるかに注目だ。